

2021年2月期第3四半期 決算説明資料

バリオセキュア株式会社
(証券コード：4494)

2021年1月12日

1. 企業及び事業の概要
2. 2021年2月期 第3四半期実績（業績・トピックス）
3. 2021年2月期 通期業績見通し
4. 今後の成長戦略
5. 参考資料



17,209台*¹
&
47都道府県*¹
ゲートウェイプラットフォーム

24時間/365日

31.4%*^{2,3}
営業利益率

2,915社*¹
顧客社数

 GOOD DESIGN AWARD
2014年度受賞

マネージドセキュリティサービスは
2014年グッドデザイン賞を
受賞しました

75拠点*¹
業務委託先倉庫等

83.9%*^{2,4}
リカーリング収益比率

*1：2020年11月30日時点の数値(VSRマネージド台数7,334台、VCR累積出荷台数9,875台)

*2：2020年2月期IFRS基準の数値

*3：営業利益率 = 営業利益 ÷ 売上収益合計

*4：リカーリング収益比率 = マネージドセキュリティサービスの売上収益 ÷ 売上収益合計

1. 企業及び事業の概要



- 機器からソフトウェアの開発、運用/保守までを全て自社で提供
- 他社に真似できない**自社で一括展開する**独自のビジネスモデル

Varioモデル

開発

自社で一括して展開

運用/保守

- ◆ 基幹ソフトウェアの開発
 - ICSA*1認定の自社開発ソフト

1台で23機能



- ◆ 機器の設置/設定

- ◆ 機器の調達
 - 台湾の工場に直接委託



Router

UTM

Network機器

Server



- ◆ 機器設置後の監視/運用
 - オンサイト保守
 - リモート保守

VSR1台で多様なネットワークセキュリティ機能を提供

*1 : Verizon Communications Inc.の独立部門としてメーカーに依存しない公平な立場からセキュリティ製品のテストと認定を行っている機関

■ 独自のビジネスモデルを活用した、サービスの強み

Varioモデルの強み

- ① **日本全国対応**
47都道府県全てで運用/保守実績
- ② **24時間/365日**
問い合わせ/オンサイト対応
- ③ **4時間以内駆付け目標**
全国75拠点*1に在庫配備

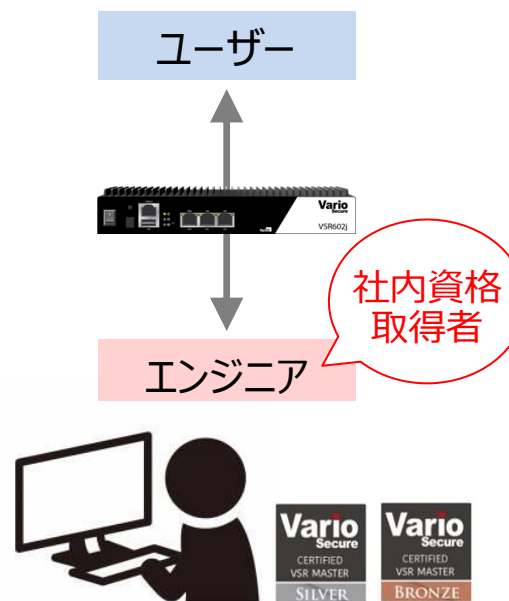
<2020年2月期サービス実績>

- ◆ 問い合わせ対応：14,548件/年
- ◆ 設定変更：8,419件/年
- ◆ オンサイト対応：210件/年
- ◆ 4時間以内駆付け目標達成：100%

*1：2020年11月末現在

<問題の迅速な解決>

- エンジニアによる受付
- +
- 徹底したリモート対応







VS

一般モデル

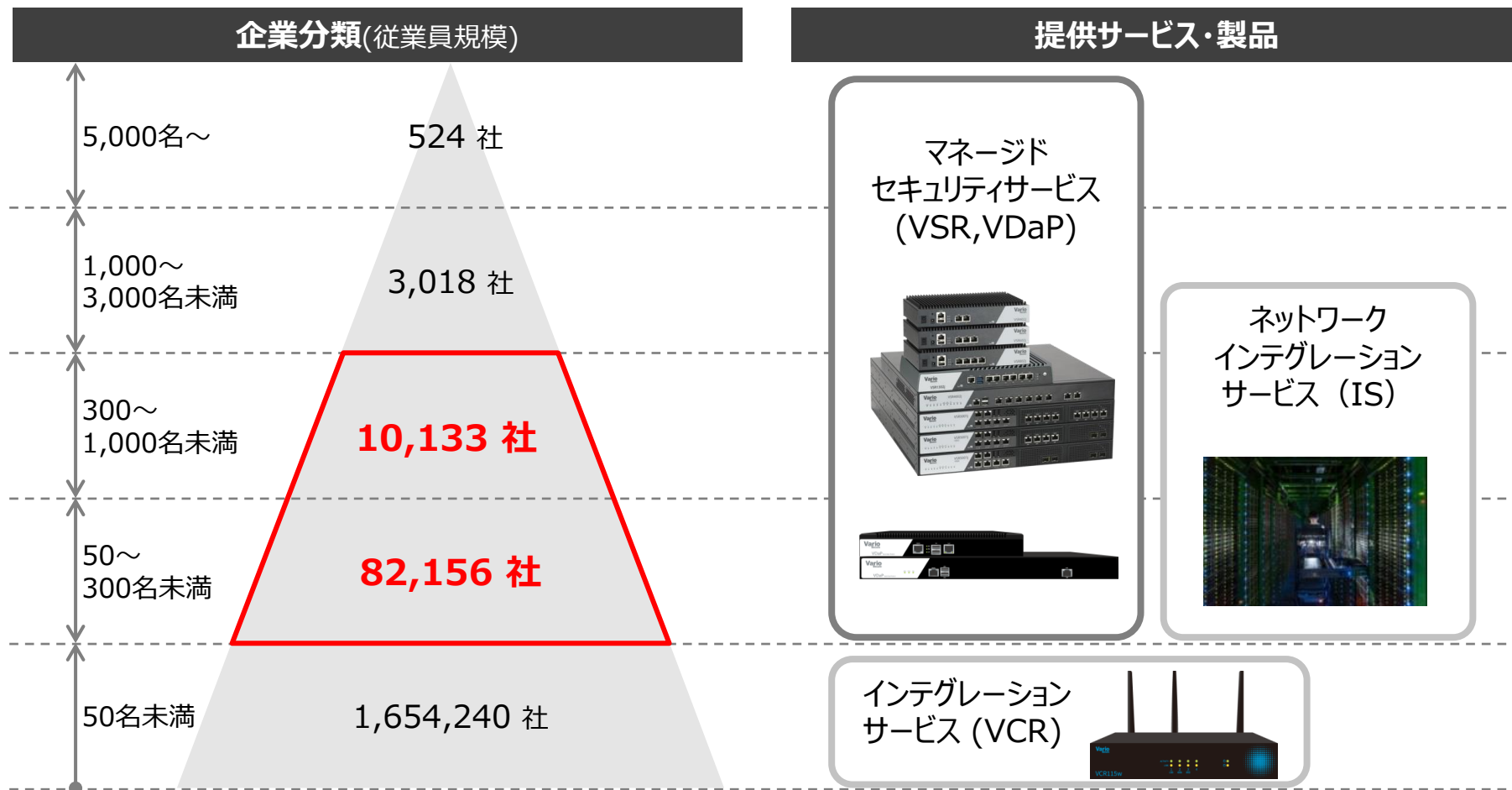
コールセンターを経由したオンサイト対応が中心



■ 企業のインターネット利用を安全・快適にできるサービスを提供

サービス区分	マネージドセキュリティサービス	インテグレーションサービス
サービス形態	導入支援・導入・運用・保守 24時間/365日、日本全国	機器販売・構築
収益モデル	リカーリング型（月額課金）	一時課金型
サービス内容	<p>① 統合型インターネットセキュリティサービス</p>  <p>Vario OS ICSA labs CERTIFIED FIREWALL-CORPORATE</p> <p>マネージドセキュリティサービス専用機器 VSR—Vario Secure Router</p>	<p>① 中小企業向け統合セキュリティ機器の販売</p>  <p>中小企業向け統合セキュリティ機器 VCR—VarioCommunicate Router</p>
	<p>② データバックアップサービス</p>  <p>データバックアップサービス専用機器 VDaP—Vario Data Protect</p>	<p>② ネットワークインテグレーションサービス（以下、IS）</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク機器の調達や構築 

■ 中堅企業を中心に幅広く対応するサービスラインナップを展開



出所：総務省統計局「平成28年経済センサス-活動報告（確報）」

- 当社製品（VSR及びVCR）は日本全国に普及

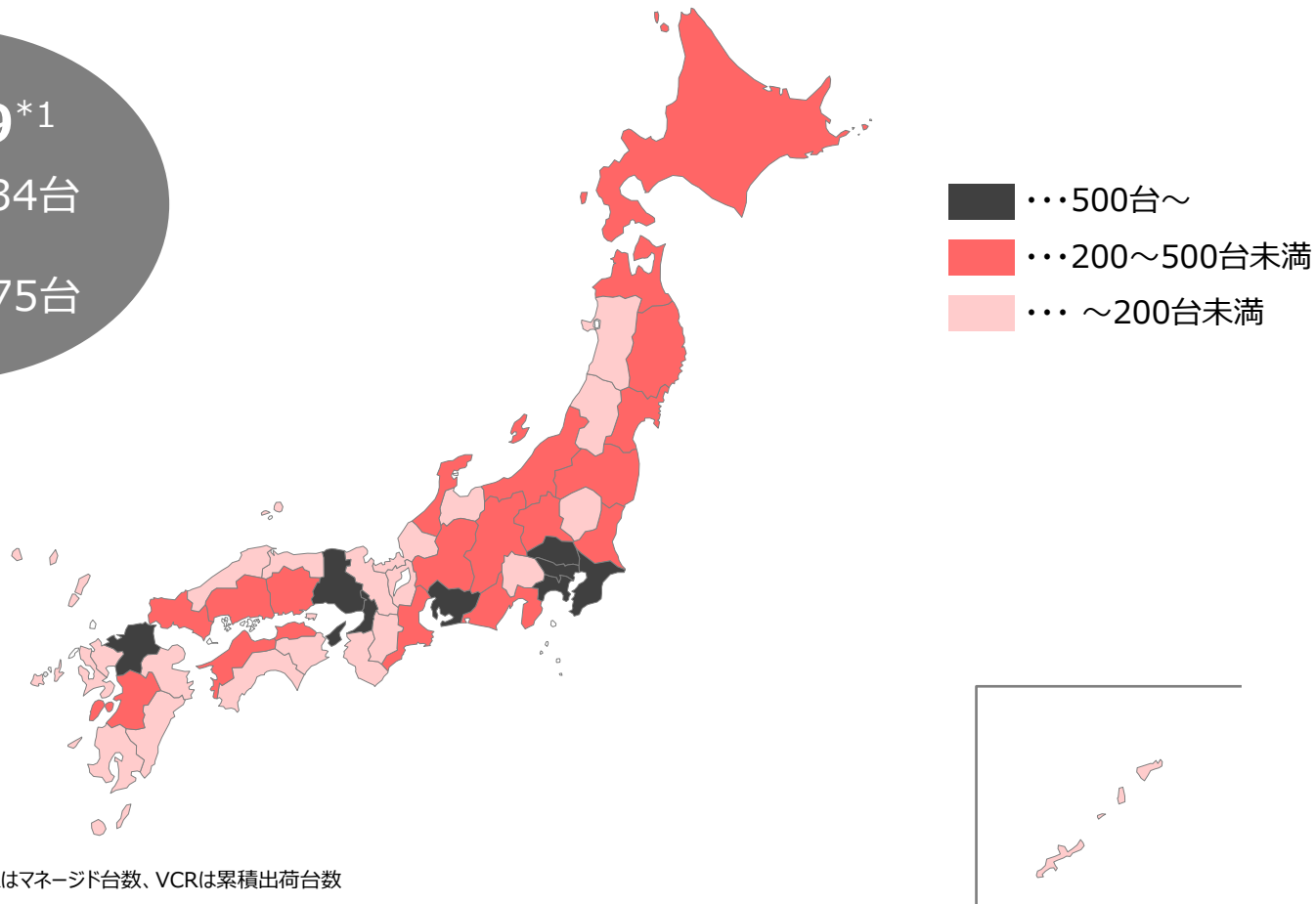
47 都道府県どこでもバリオ

17,209*1

VSR : 7,334台

+

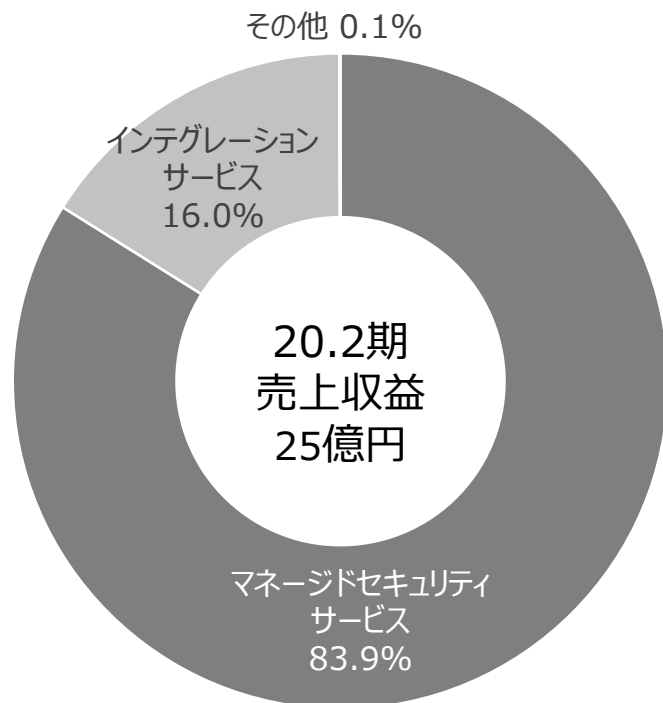
VCR : 9,875台



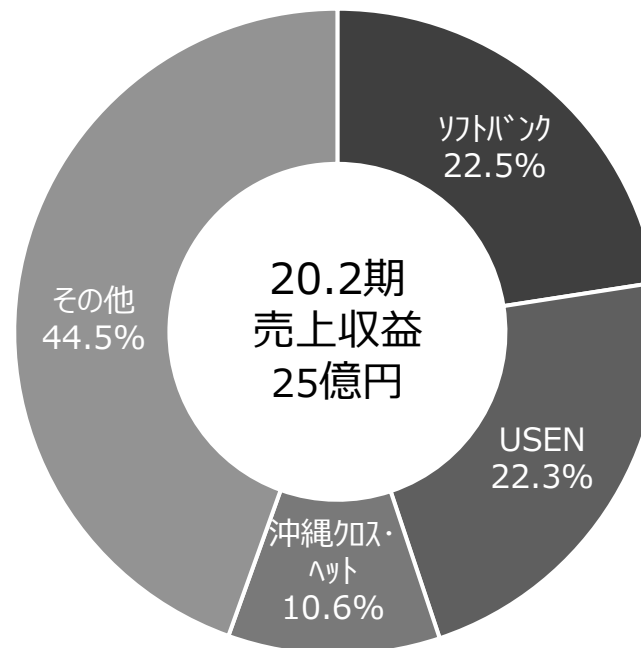
*1 : 2020年11月30日現在、VSRはマネージド台数、VCRは累積出荷台数

- 売上収益の83.9%が、保守・運用サービス付のマネージドセキュリティサービス
- 通信事業社系2社で、売上高の44.8%

サービス別売上収益



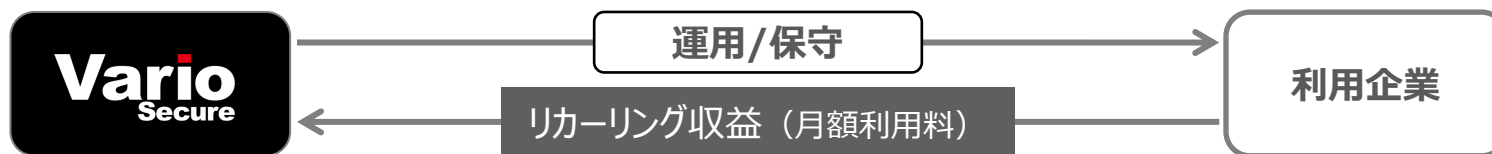
主要パートナー別売上収益



■ 高いリピート率とリカーリングモデルによる、安定した売上高

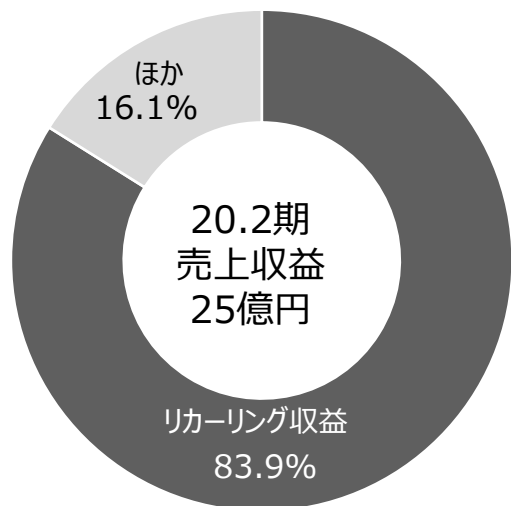
マネージドセキュリティサービスの月額課金モデル

◆ 利用企業はサービスプランに応じた月額利用料金を支払う



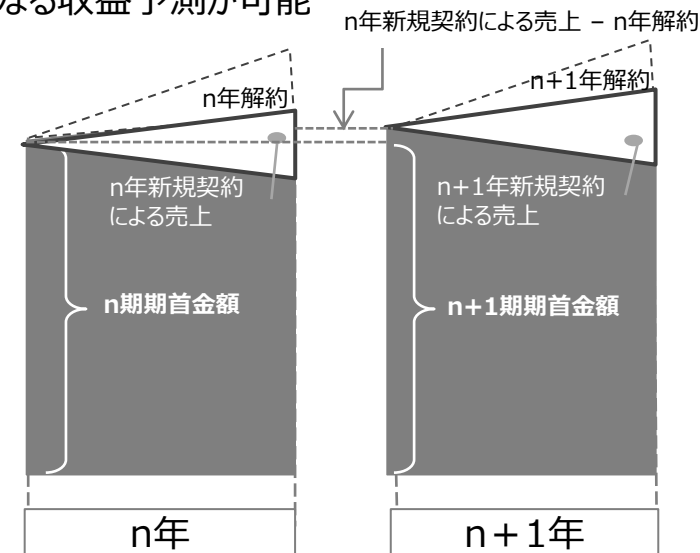
売上構成

◆ 売上収益の大半が、リカーリング収益*1



安定収益

◆ 解約率は0.9%*2と極めて低く、期初段階でベースとなる収益予測が可能



*1: リカーリング収益比率 = マネージドセキュリティサービスの売上収益 ÷ 売上収益合計

*2: 解約率 (金額ベース) = 年間解約金額 ÷ 各年度の期初ベース月次売上収益 * 12の3年間 (2018/2~2020/2期) の平均値

2. 2021年2月期 第3四半期実績 (業績・トピックス)



第3四半期業績サマリー（対前年同期比、9カ月累計比較）

- 売上収益は、前年同期比1.5%増の1,907百万円
- 営業利益は、同比3.1%減の598百万円。一過性の上場準備費用を除くと5.1%増の649百万円

(単位：百万円)	20年2月期		21年2月期			
	9カ月累計 実績	売上収益比	9カ月累計 実績	売上収益比	前年差	前年比
売上収益	1,880	100.0%	1,907	100.0%	27	1.5%
売上総利益	1,188	63.2%	1,193	62.5%	4	0.4%
販管費等*1	570	30.4%	594	31.2%	23	4.1%
営業利益	618	32.9%	598	31.4%	-19	-3.1%
当期利益	393	20.9%	385	20.2%	-7	-2.0%
参照：上場準備費用除いた場合						
販管費等*1	570	30.4%	543	28.5%	-27	-4.8%
営業利益	618	32.9%	649	34.1%	31	5.1%
当期利益	393	20.9%	414	21.7%	20	5.2%

*1：販売費等 = 販売費及び一般管理費 + その他の収益

IFRS(国際会計基準)

第3四半期業績サマリー（対前年同期比、9カ月累計比較）

- 一株当たり純利益(EPS)は、前年同期比2.13円減の103.52円
(上場準備費用(以後「IPO費」)を除くと、5.54円増の111.19円)
- 投下資本利益率(ROIC)は、同比0.387pt減の6.934% (IPO費を除くと0.064pt増の7.385%)
- 負債比率は、同比19.72pt減の59.11% (IPO費を除くと20.16pt減の58.67%)

	20年2月期 9カ月累計実績	21年2月期 9カ月累計実績
EPS(円)*1	105.65	103.52
ROIC(%)*2	7.321%	6.934%
負債比率*3	78.83%	59.11%

参照：上場準備費用除いた場合

EPS(円)*1	105.65	111.19
ROIC(%)*2	7.321%	7.385%
負債比率*3	78.83%	58.67%

IFRS(国際会計基準)

*1：EPS（一株当たり純利益）=四半期利益÷発行済み株式数

*2：ROIC（投下資本利益率）=NOPLAT(営業利益×(1-税率))÷投下資本(IC)(株主資本(純資産)+有利子負債)×100

*3：負債比率=((短期借入金+長期借入金)÷自己資本)×100

サービス別売上収益の状況（対前年同期比、9カ月累計比較）

■ マネージドセキュリティサービス

売上収益は、前年比1.9%増の16億円

売上収益（リカーリング・レベニュー・モデル）比率は、0.3ptの増加の84.3%

■ インテグレーションサービス

売上収益は、同比0.4%減の2.9億円（前受収益は、20年2月末より24百万円増加の4.6億円）

(単位：百万円)	20年2月期		21年2月期			
	9カ月累計実績	売上収益比*1	9カ月累計実績	売上収益比*1	前年差	前年同期比
売上収益	1,880	100.0%	1,907	100.0%	27	1.5%
マネージドセキュリティ	1,578	84.0%	1,608	84.3%	29	1.9%
インテグレーション	300	16.0%	299	15.7%	-1	-0.4%
その他事業	1	0.1%		0.0%	-1	-100%

IFRS(国際会計基準)

*1：売上収益比 = 各サービスの売上収益 / 総売上収益

- 計画的な借入返済により、Net D/Eレシオ、Net D/EBITDA倍率共に改善
- 前受収益は、20年2月末より24百万円増加の4.6億円
- 継続的な収益の積上げにより、資本比率は6.5ptの増加の54.6%
- 滞留債権なし

(単位：百万円)	20年2月期		21年2月期		増減
	20年2月末 実績	資産比率	20年11月末 実績	資産比率	
のれん	5,054	71.4%	5,054	72.6%	0
のれん純資産倍率*1	1.483x		1.329x		
借入金	2,521	35.6%	2,248	32.3%	-273
Net D/E レシオ*2	0.554		0.471		
Net D/EBITDA倍率*3	2.138x		1.959x		
前受収益	442	6.3%	466	6.7%	24
資本	3,408	48.1%	3,803	54.6%	395
総資産	7,081	100.0%	6,966	100.0%	-114

*1：のれん純資産倍率 = のれん / 資本

*2：Net D/E レシオ = Net Debt / 資本 Net D/E (純有利子負債：有利子負債残高 (短期借入金、長期借入金) - 現金及び現金同等物 (預金))

*3：Net D/EBITDA倍率 = Net Debt / EBITDA (償却前営業利益：金利や税、減価償却費を計上する前の利益)

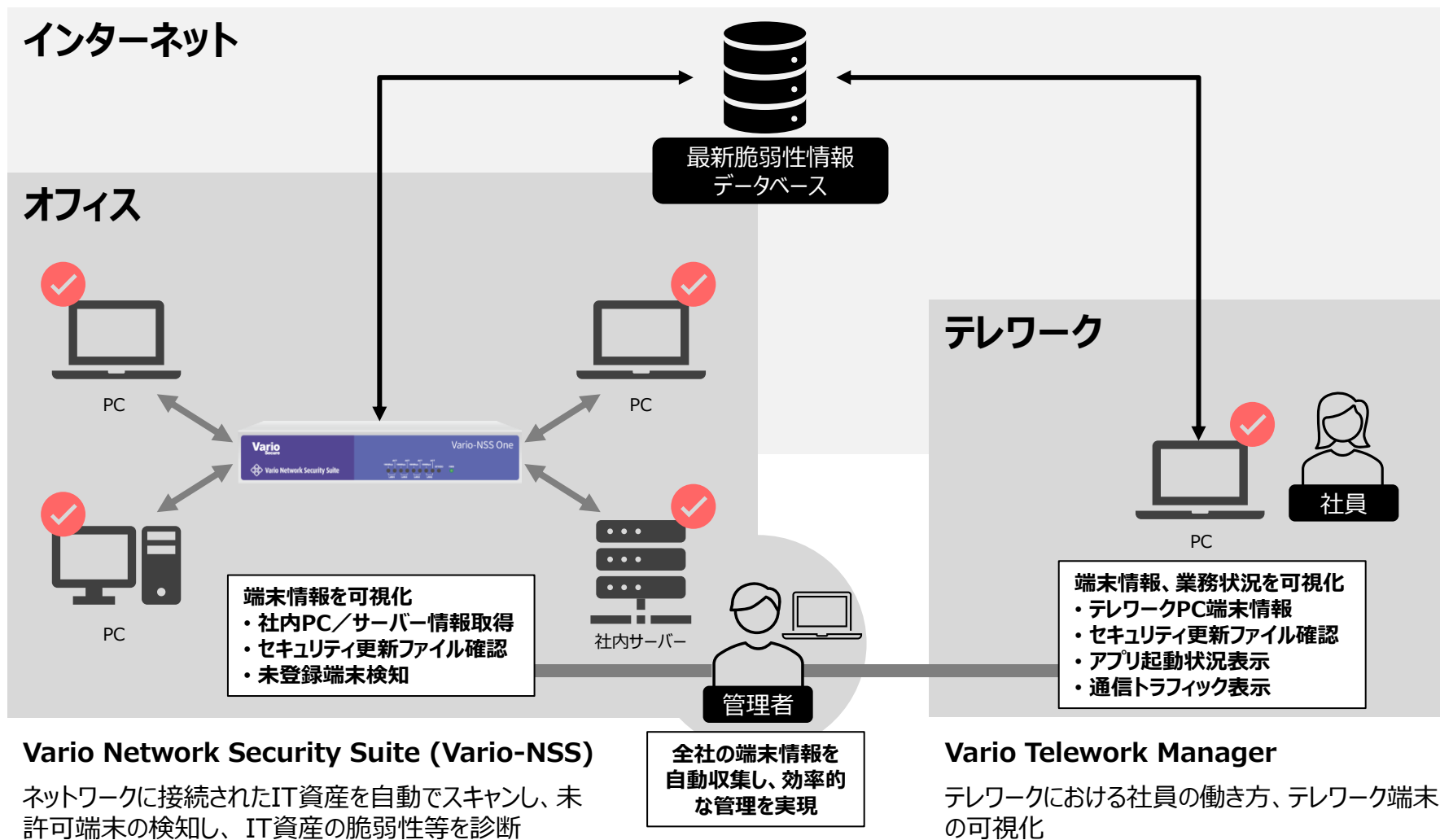
IFRS(国際会計基準)

- 営業キャッシュ・フローは、新製品切り替えに伴う棚卸資産の増加、昨年度の大型案件の影響（契約負債の増加）に伴う法人所得税の増加により、3.8億円の減少
- 投資キャッシュ・フローは、主に昨年 of 事業譲受の影響を受け33百万円の増加

(単位：百万円)	2020年2月期 9カ月累計実績	2021年2月期 9カ月累計実績	前年差
営業キャッシュ・フロー	648	260	-387
税引前四半期利益	568	556	-12
棚卸資産の増減(－は増加)	113	-15	-129
法人所得税の支払額	-200	-296	-96
その他	167	16	-151
投資キャッシュ・フロー	-117	-84	33
資産取得による支出	-81	-84	-3
事業譲受による支出	-35		36
財務キャッシュ・フロー	-351	-352	-2
長期借入金の返済による支出	-300	-300	0
リース負債の返済その他	-51	-52	-2
現金及び現金同等物の期末残高	467	455	-12

IFRS(国際会計基準)

- 業務量の増加、IT人材不足を支援するサービス(Vario-NSS) を提供



機能追加 マネージドセキュリティサービス

テレワーク可視化ツール「Vario Telework Manager」の機能追加

利用者のログイン、ログアウト日時、OS Windows Update 更新履歴のほか、利用ソフトウェアの表示、グループ抽出機能等のユーザーインターフェイスが向上し、テレワークの状況を可視化

Vario Telework Manager



サービス刷新 メールセキュリティサービス

メールセキュリティサービス「バリオアタッチ&アップロード」および「バリオメールコンファーム」を刷新

メールの誤送信防止を強化、BCC化ルール機能、メール処理レポートを標準搭載。そのほか、出力レポートによる運用詳細情報の可視化。各機能はマルチデバイス対応し、多様な働き方に対応しています。

Vario Mail Security



ICSA認定*更新

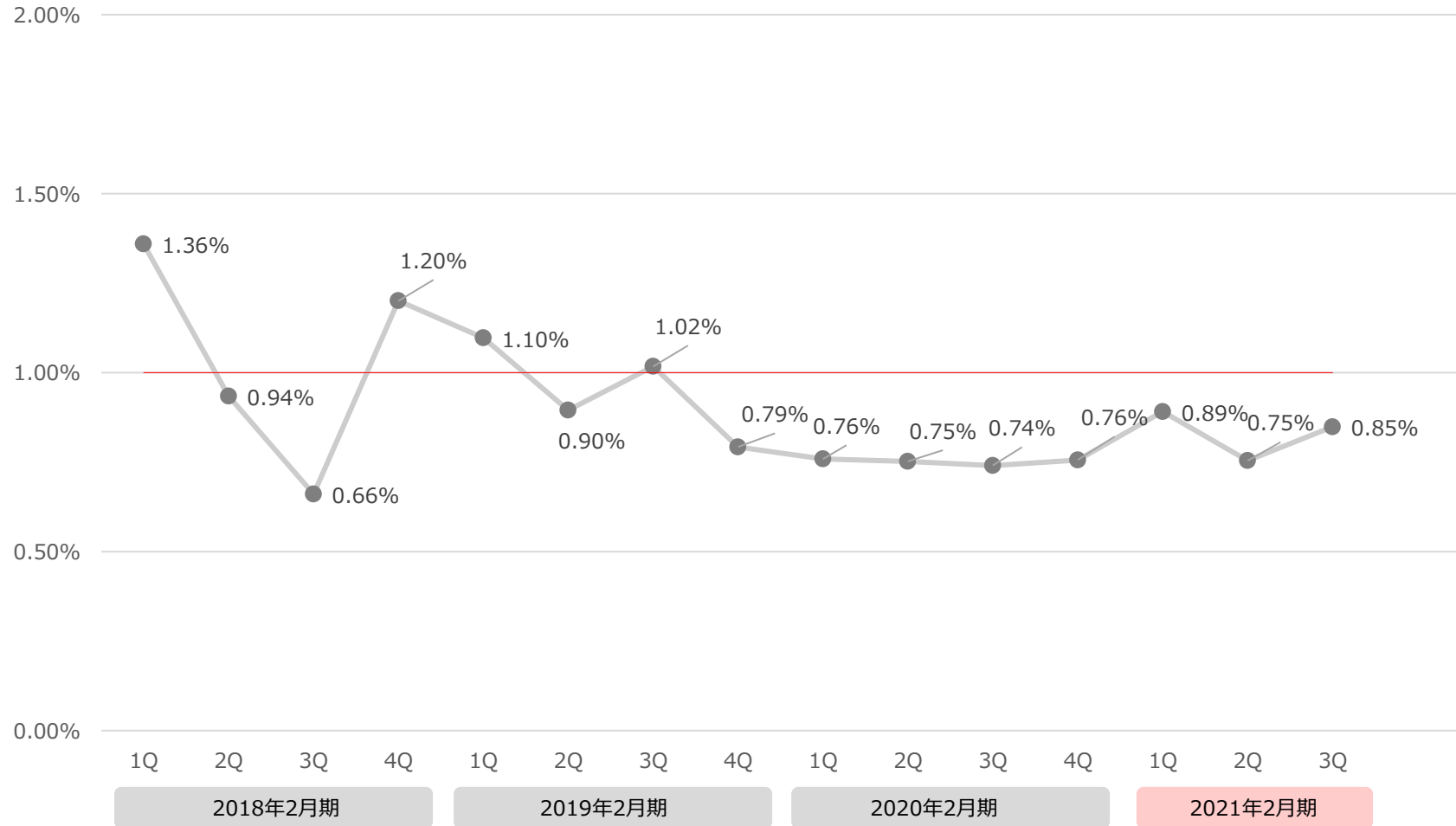


2003年にファイアウォール認定を日本企業で初めて取得以来、18年間、継続して取得しています。

*ICSAはVerizon Communications Inc.の独立部門としてメーカーに依存しない公平な立場からセキュリティ製品のテストと認定を行っております。



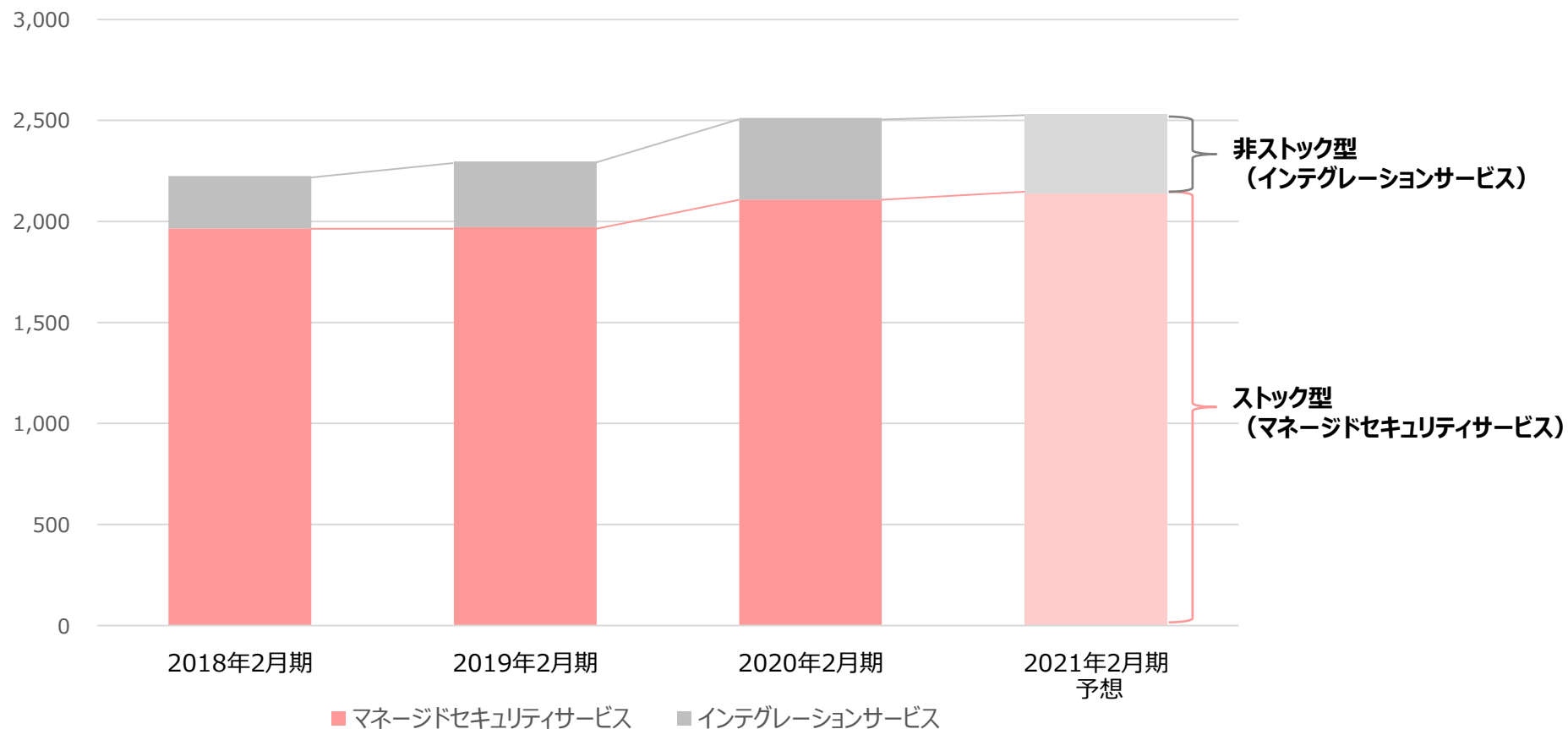
■ 統合型インターネットセキュリティの解約（四半期）は低い水準で推移



解約率（金額ベース） = 四半期解約金額 ÷ （各年度の期初ベース月次売上収益 × 3ヶ月）

- ストック型の売上収益であるマネージドセキュリティサービスは堅調に推移

サービス別売上収益の推移



- 2020年11月30日 東京証券取引所市場第二部に上場



3. 2021年2月期 通期業績見通し



- 売上収益は、前年比0.7%増の2,530百万円
- 営業利益は、同比3.6%減の760百万円
上場準備費用（以後「IPO費」）を除くと0.4%増の811百万円
- 当期利益は、前年比1.7%減の489百万円。IPO費を除くと2.7%増の525百万円

(単位：百万円)	20年2月期		21年2月期			
	通期実績	売上収益比	通期見通し	売上収益比	前年差	前年比
売上収益	2,513	100.0%	2,530	100.0%	16	0.7%
売上総利益	1,549	61.6%	1,583	62.6%	34	2.2%
販管費等*1	759	30.2%	822	32.5%	62	8.2%
営業利益	789	31.4%	760	30.1%	-28	-3.6%
当期利益	498	19.8%	489	19.4%	-8	-1.7%

参照：上場準備費用除いた場合

販管費等*1	740	29.5%	771	30.5%	31	4.2%
営業利益	808	32.2%	811	32.1%	3	0.4%
当期利益	511	20.4%	525	20.8%	14	2.7%

*1：販売費等 = 販売費及び一般管理費 + その他の収益

IFRS(国際会計基準)

- 一株当たり純利益(EPS)は、前年比2.22円減の131.48円
(上場準備費用「以後IPO費」)を除くと、2.54円増)
- 投下資本利益率(ROIC)は、同比0.54pt減の8.802% (IPO費を除くと、0.37pt減)
- 負債比率は、同比18.79pt減の55.18% (IPO費を除くと19.87pt減)

	20年2月期 通期実績	21年2月期 通期見通し
EPS(円)*1	133.70	131.48
ROIC(%)*2	9.342%	8.802%
負債比率*3	73.97%	55.18%

参照：上場準備費用除いた場合

EPS(円)*1	152.15	154.69
ROIC(%)*2	9.562%	9.192%
負債比率*3	73.68%	53.81%

IFRS(国際会計基準)

*1：EPS一株当たり純利益=当期純利益÷発行済み株式数

*2：ROIC（投下資本利益率）=NOPLAT(営業利益×(1-税率))÷投下資本(IC)(株主資本(純資産)+有利子負債)×100

*3：負債比率=((短期借入金+長期借入金)÷自己資本)×100

■ マネージドセキュリティサービス

売上収益は、前年比1.5%増の21.4億円

売上収益（リカーリング・レベニュー・モデル）比率は、0.7pt増の84.6%

通期見通しに対し進捗率75.1%

■ インテグレーションサービス

売上収益は、コロナ禍の影響を受け前年比3.4%減の3.8億円

通期見通しに対し進捗率76.8%

(単位：百万円)	20年2月期				21年2月期					
	通期実績	売上収益比*1	9カ月累計	進捗率	通期見通し	売上収益比*1	前年差	前年比	9カ月累計	進捗率
売上収益	2,513	100.0%	1,880	74.8%	2,530	100.0%	16	0.7%	1,907	75.4%
マネージドセキュリティ	2,108	83.9%	1,578	74.9%	2,140	84.6%	31	1.5%	1,608	75.1%
インテグレーション	403	16.0%	300	74.5%	389	15.4%	-13	-3.4%	299	76.8%
その他事業	1	0.1%	1	100.0%			-1	-100%		

IFRS(国際会計基準)

*1：売上収益比 = 各サービスの売上収益 / 総売上収益

4. 今後の成長戦略

1. 市場の拡大余地

2. 現在のポジショニングと成長の方向性

3. 売上収益の継続的成長に向けた戦略

3 - 1 ゲートウェイセキュリティの拡大

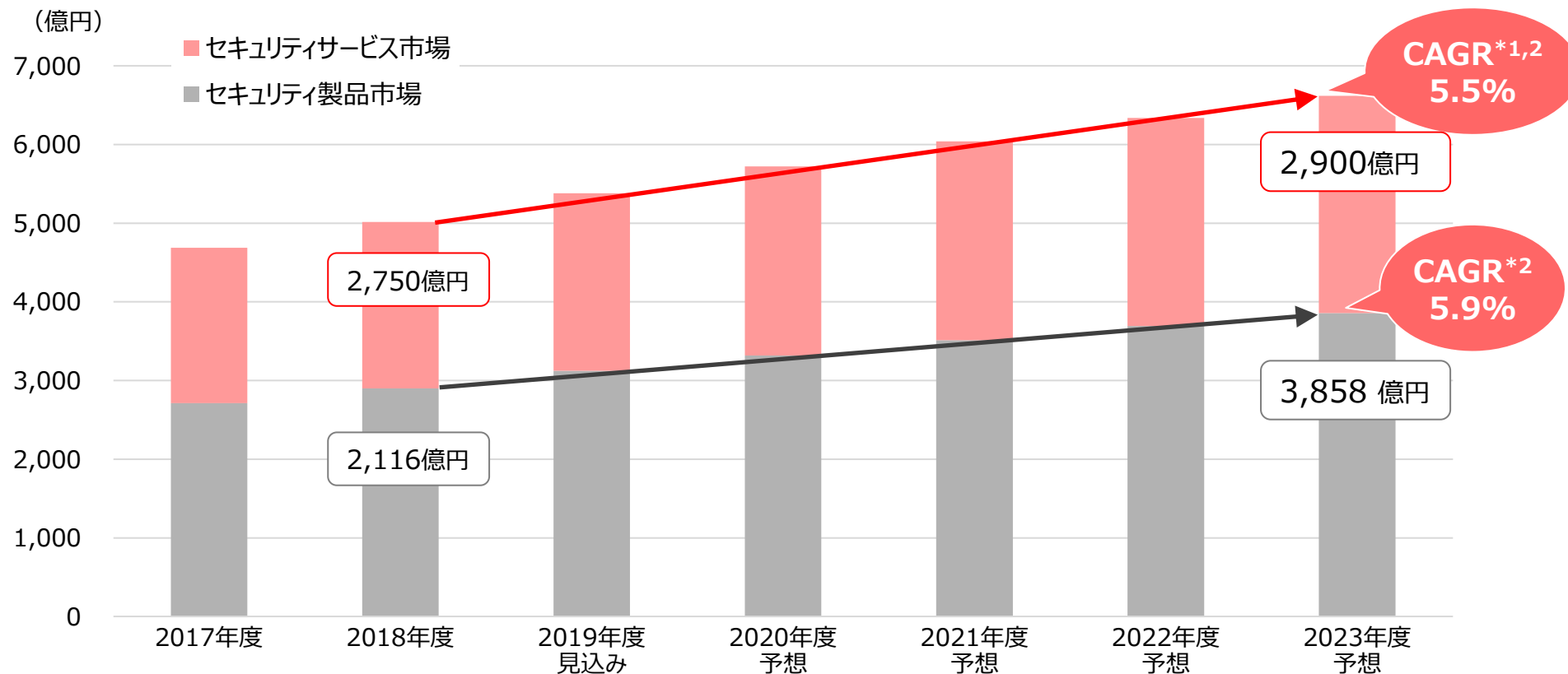
3 - 2 VDaP強化 (マネージドセキュリティサービス)

3 - 3 情シス as a サービス (マネージドセキュリティサービス)

4. 今後の利益成長について

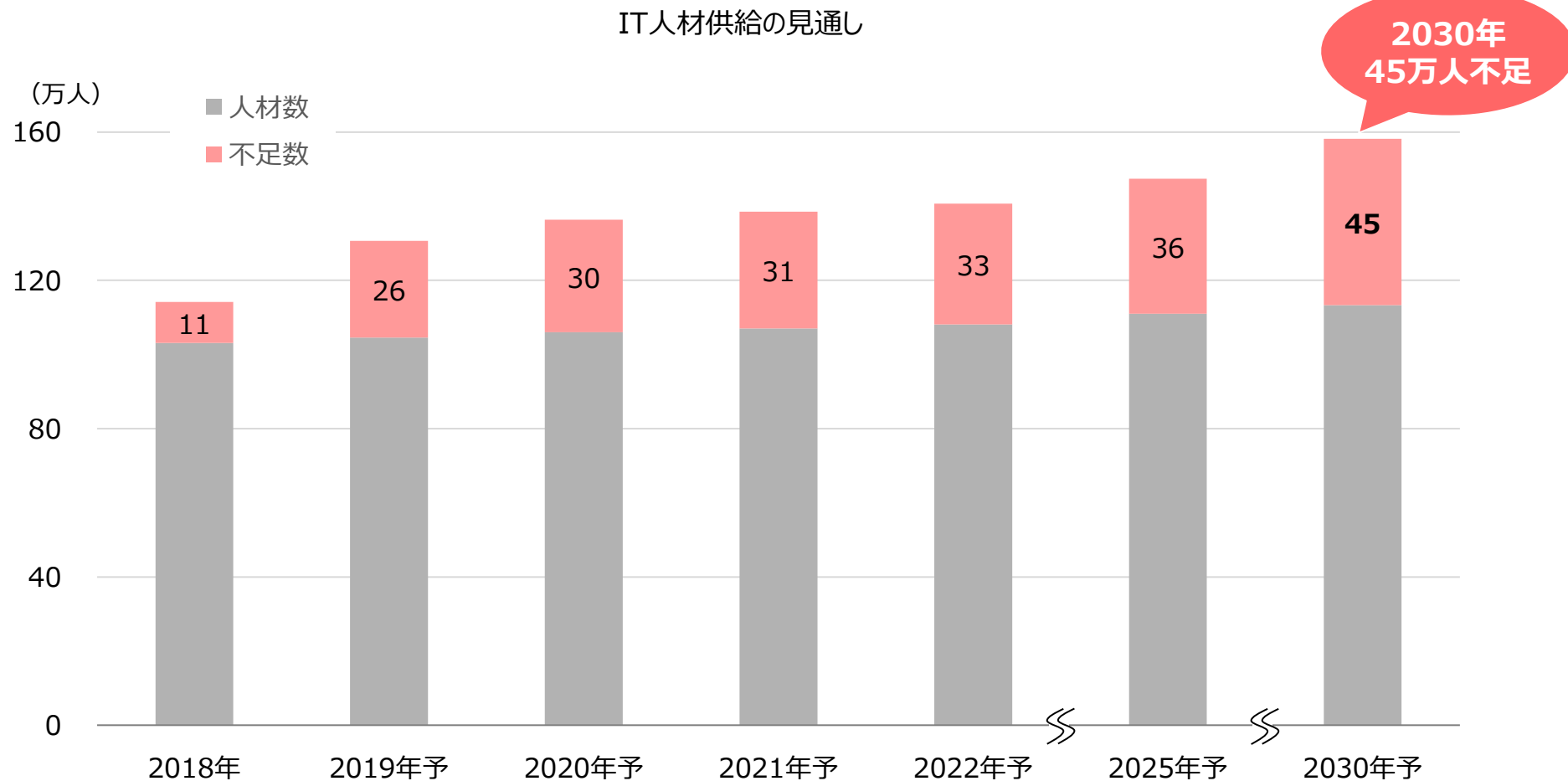
■ セキュリティサービス/製品市場は今後も堅調にマーケットが拡大すると予測

セキュリティサービス/製品市場の推移



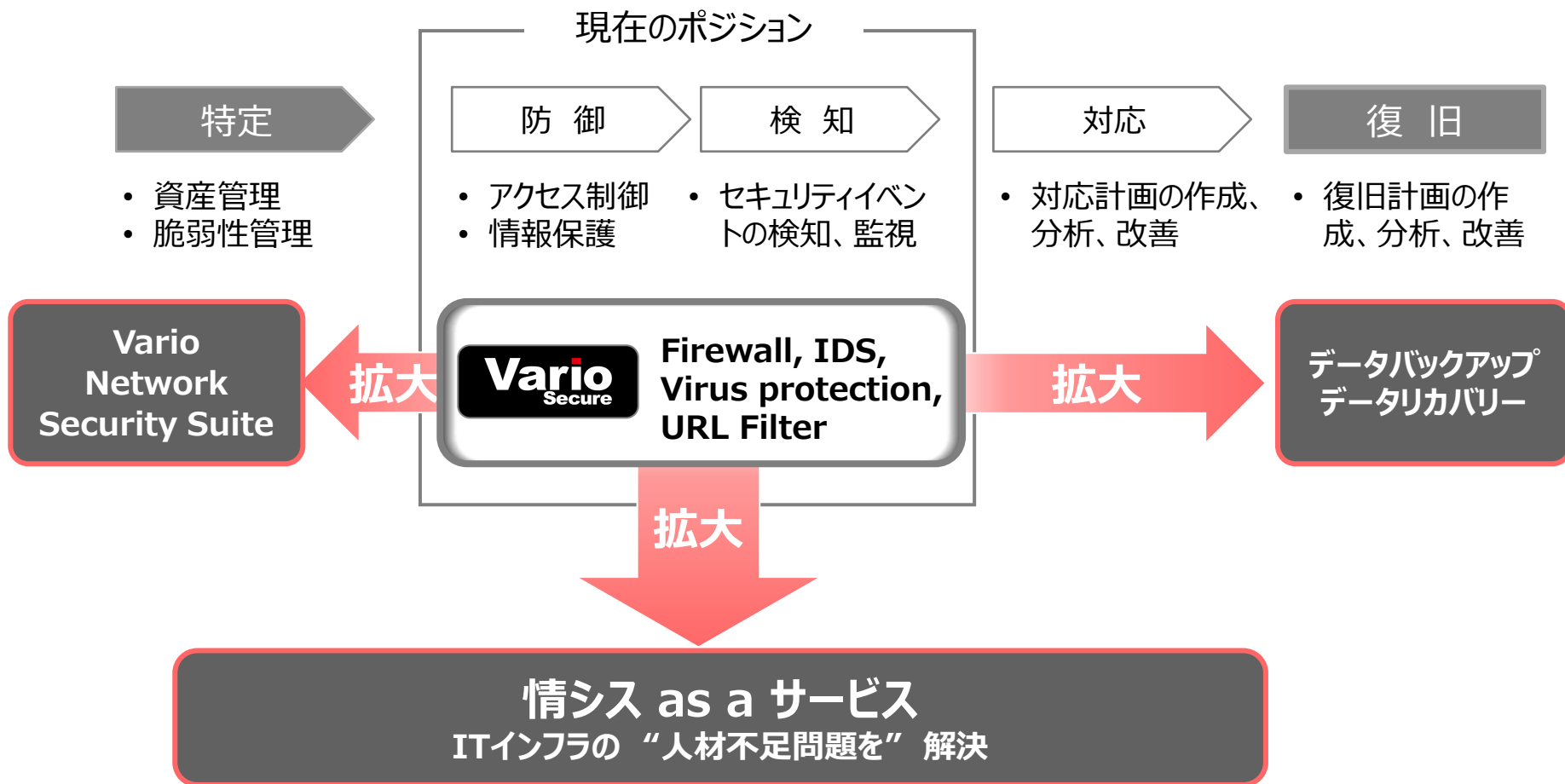
出所：(株)富士キメラ総研「2019 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧(市場編)」
*1：セキュリティサービスと製品の市場の合計の成長率
*2：2018年度～2023年度のCAGR

- 深刻なIT人材不足によりマネージドサービスのニーズと範囲は拡大



出所：経済産業省「IT人材需給に関する調査（概要）」（2019年4月）

■ 特定、復旧、企業ITインフラ全般にサービス範囲を拡大する



- 主力事業であるゲートウェイセキュリティの強化を主軸に、企業ITインフラ全般への拡大を図る

1

ゲートウェイセキュリティの拡大

マネージドセキュリティサービス



VSR

インテグレーションサービス



VCR

サービス強化

企業内ネットワークへ事業拡大

2

VDaP強化

3

情シス as a サービス

インテグレーションサービスとの連携

① ゲートウェイセキュリティの拡大

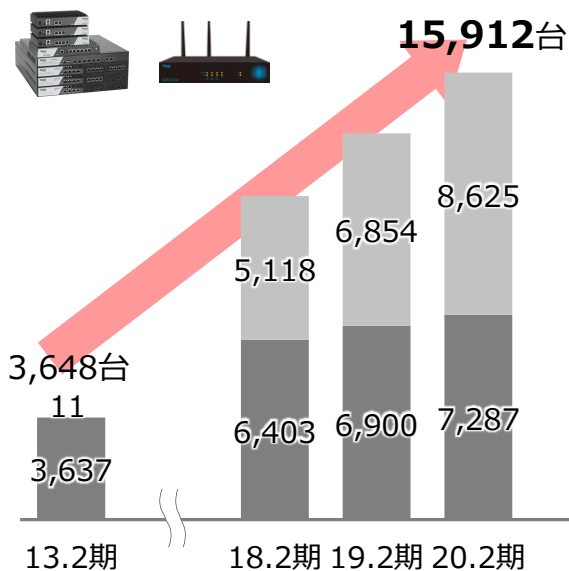
■ 台数シェア拡大

販売体制強化、新規代理店開拓

- インサイドセールスチームによる地方拠点支援強化
- 大容量回線対応をミドルクラスモデルまで拡大
- VCRの簡易運用サービスを展開

VSR・VCR普及台数推移*1

■ VSR ■ VCR



全国事業所数
557万か所へ*2,3

- *1: VSRはマネージド台数、VCRは累積出荷台数
- *2: 総務省統計局「平成28年経済センサス-活動調査」
- *3: 当社製品の普及率は0.3%

■ ベース売上拡大withコロナのニーズの変化に対応 リモートアクセスオプション拡大とテレワークマネージャリリース

- テレワーク状態の可視化
- 端末利用者のログイン・ログアウト履歴表示

テレワークに「見える化」と「セキュリティ」をプラス！
Vario Telework Manager
バリオテレワークマネージャー
Vario
Secure

Vario Telework Manager
お問い合わせ

社員のテレワーク、 しっかり把握できていますか？

テレワーク導入企業の共通課題

- テレワーク社員の「勤務状況」
- テレワーク端末の「セキュリティ対策」

経営層、管理職のテレワークに感じる課題

テレワークに関するアンケートから、テレワーク中の社員の勤務状況、PCのセキュリティ対策が様々な企業に共通の課題としてあげられます。

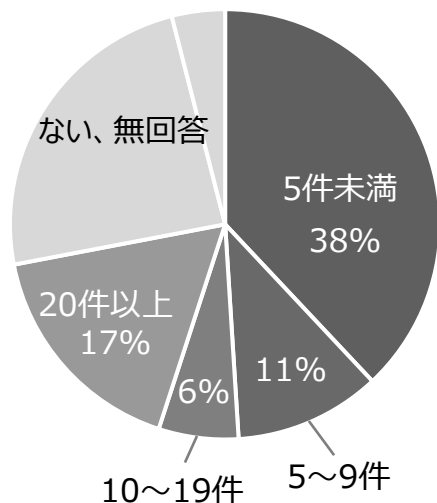
- テレワーク社員の勤務開始、終了が見えない
- 長時間残業や就業時間外業務を把握できない
- 業務の稼働状況を「見える化」したい

- 会社PCの稼働率が把握されているか
- 未許可端末が業務利用されていないか
- テレワーク端末の会社PCの管理が難しい

② VDaP強化（マネージドセキュリティサービス）

- 企業向けバックアップサービスに向け商材を強化し、新規代理店開拓を進める
 - 災害対策として、今後も大きく市場が拡大

過去3年間
セキュリティインシデント発生回数



商材強化

- ◆ VDaPの大容量化 : 10TB まで
- ◆ ディザスターリカバリー : 仮想イメージをそのままバックアップ
- ◆ NAS*1サーババンドル : NASサーバへVDaPソフトのみ提供

VDaP 【Basic】	VDaP Plus 【Advanced】	プロフェッショナル 【Expert】
✓クラウドバックアップ	✓エージェントレス技術	✓BCP
✓サイト間バックアップ	✓データベース対応	✓Hybrid/Private
✓サーバー・NAS*1	✓VMware/Hyper V	✓リカバリサイト

出所：(社)JPCERTコーディネーションセンター「ランサムウェアの脅威動向および被害実態調査報告書」（2018年7月30日）

*1：NAS（Network Attached Storage） LANに直接接続するHDD

③ 情シス as a サービス 構想

- IT人材不足の解消と利用データの価値を創造する



ユーザーインターフェース

利用状況の評価/分析/判定

ゲートウェイ

VSR, VCR

バックアップ

VDaP,
Blueshift

デバイス探査

Vario
Network
Finder

デバイス監視

Vario System
Monitoring

脆弱性管理

Vario
Vulnerability
Tracker

リモートワーク

Vario
Telework
Manager

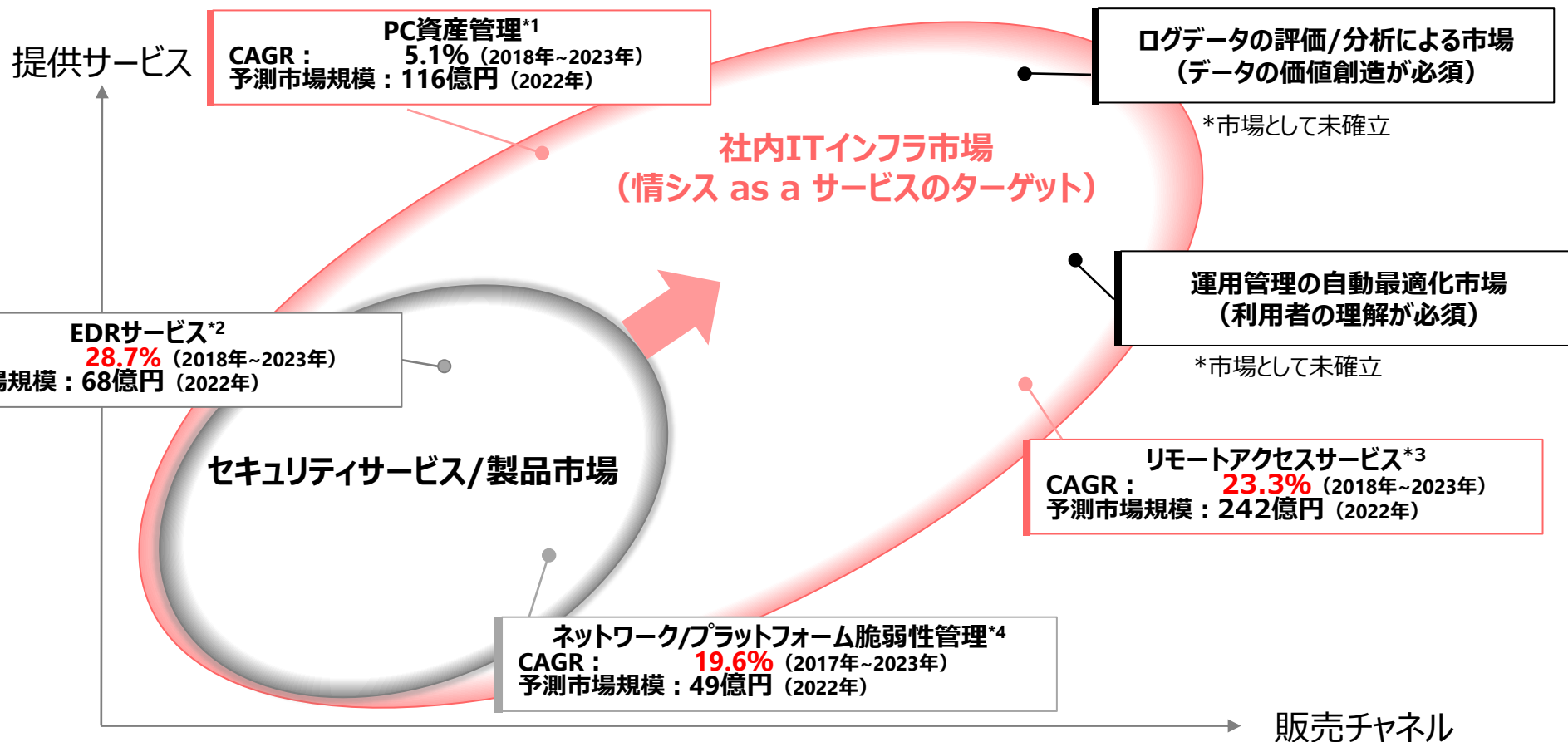
EDR

拡大

情シス支援の幅を広げます

③ 情シス as a サービス 構想 : ターゲット市場

■ セキュリティサービス/製品市場から、社内ITインフラ市場へ



* 1 : (株)アイ・ティ・アール「国内PC資産管理市場規模推移および予測」(2019年9月)
* 3 : ミック経済研究所「『働き方改革』を支援するリモートアクセス&DaaS市場の現状と展望2018年度版」

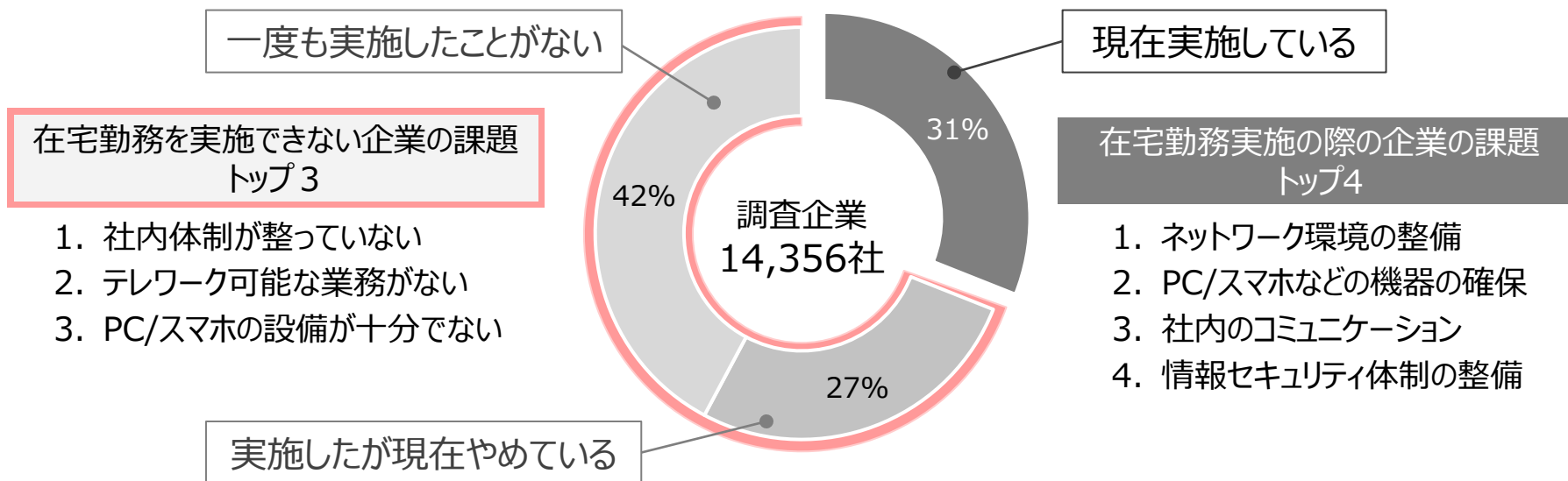
* 2 : (株)アイ・ティ・アール「EDRサービス市場規模推移および予測」(2019年10月)
* 4 : (株)アイ・ティ・アール「ネットワーク/プラットフォーム脆弱性管理市場規模推移および予測」(2019年1月)

5. 參考資料



- 当社のリモートVPNの第1四半期の状況と現時点での回線増強ニーズは、コロナ禍をきっかけとした働き方改革により、今後も一定期間継続すると推察する

リモートワークの実施状況



出所：(株)東京商工リサーチ第6回「新型コロナウイルスに関するアンケート」調査、
東京商工会議所「テレワークの実施状況に関する緊急アンケート」調査結果

- 当社としては、既に全社的なリモートワーク体制にて業務を遂行しておりますので、これまでと変更なく、当社業務を実施して参ります。

◆ 当社の業務提供状況

業務区分	状況
マネージドセキュリティサービス (VSR, VDaP)	通常
インテグレーションサービス (VCR, IS)	通常 オンサイト作業が発生するものに関しては個別相談
営業支援	通常 お客様訪問が必要な案件は、個別相談
管理業務 (請求/支払いなど)	通常

今後より強力な行政指示が出た場合は、具体的な対応内容を当社ホームページへの掲載、および当社担当者からご連絡をさせていただきます。

当社ホームページ お知らせ

<https://www.variosecure.net/news/?p=2358>

インターネットを利用する全ての企業が
安心して快適にビジネスを遂行できるよう、
日本そして世界へ全力でサービスを提供する

Vario
Secure

- 本資料には、当社に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記載が含まれています。これらは、当社が作成時点において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記載は、一定の前提および仮定に基づいており、また、当社の経営陣の判断または主観的な予想を含むものであり、国内外の経済状況の変化、市場環境の変化、社会情勢の変化、他社の動向等の様々なリスクおよび不確実性により、将来において不正確であることが判明しまたは将来において実現しないことがあります。したがって、当社の実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。
- 本資料における将来情報に関する記載は、作成時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新を行う義務を負うものではありません。
- 本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報および第三者作成にかかる情報は、公開情報または第三者が提供する情報等から引用したものであり、そのデータ、指標、分析等の正確性、適切性等について、当社は独自の検証を行っておらず、何らその責任を負いません。